

第2章 前提条件の整理

1. 国のバリアフリー対策

(1) 交通バリアフリー法の概要

法律の概要

1. 基本方針

国は、公共交通機関を利用する高齢者、身体障害者等の移動の利便性及び安全性の向上を総合的かつ計画的に推進するための、基本方針を作成する。

<基本方針の内容>

移動円滑化の意義及び目標

移動円滑化のために公共交通事業者が講ずべき措置に関する基本的事項

市町村が作成する基本構想の指針

等

2. 公共交通事業者が講ずべき措置

公共交通事業者に対し、鉄道駅等の旅客施設の新設・改良、車両の新規導入の際、この法律に基づいて定められるバリアフリー基準への適合を義務付ける。

既存の旅客施設・車両については努力義務とする。

<基準例>

エレベーター、エスカレーター等の設置、誘導警告ブロックの敷設 等

3. 重点整備地区におけるバリアフリー化の重点的・一体的な推進

市町村が、基本方針に基づき、一定規模の旅客施設を中心とした地区において旅客施設、道路等のバリアフリー化を重点的・一体的に推進するため、基本構想を作成する。

<基本構想の内容>

目標時期

重点的に整備すべき地区

整備をおこなう経路、整備の概要 等

公共交通事業者、道路管理者及び都道府県公安委員会が、基本構想に従ってそれぞれ具体的な事業計画を作成し、バリアフリー化のための事業を実施する。

<事業例>

エレベーター、エスカレーター等の設置、使いやすい券売機の設置、低床バスの導入

歩道の段差解消

視覚障害者用信号機の設置 等

地方公共団体等は、駅前広場、通路、駐車場等について、基本構想に従ってバリアフリー化を実施。

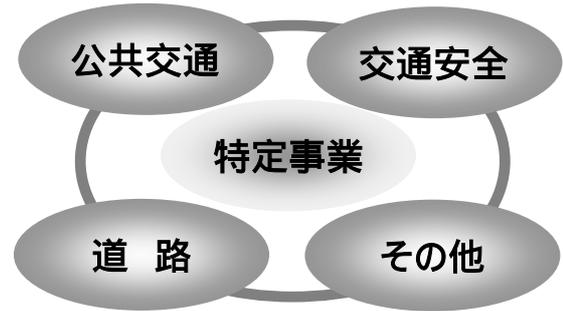
4. その他

・国、地方公共団体の支援措置、必要な情報の提供、啓発・教育（心のバリアフリー）等

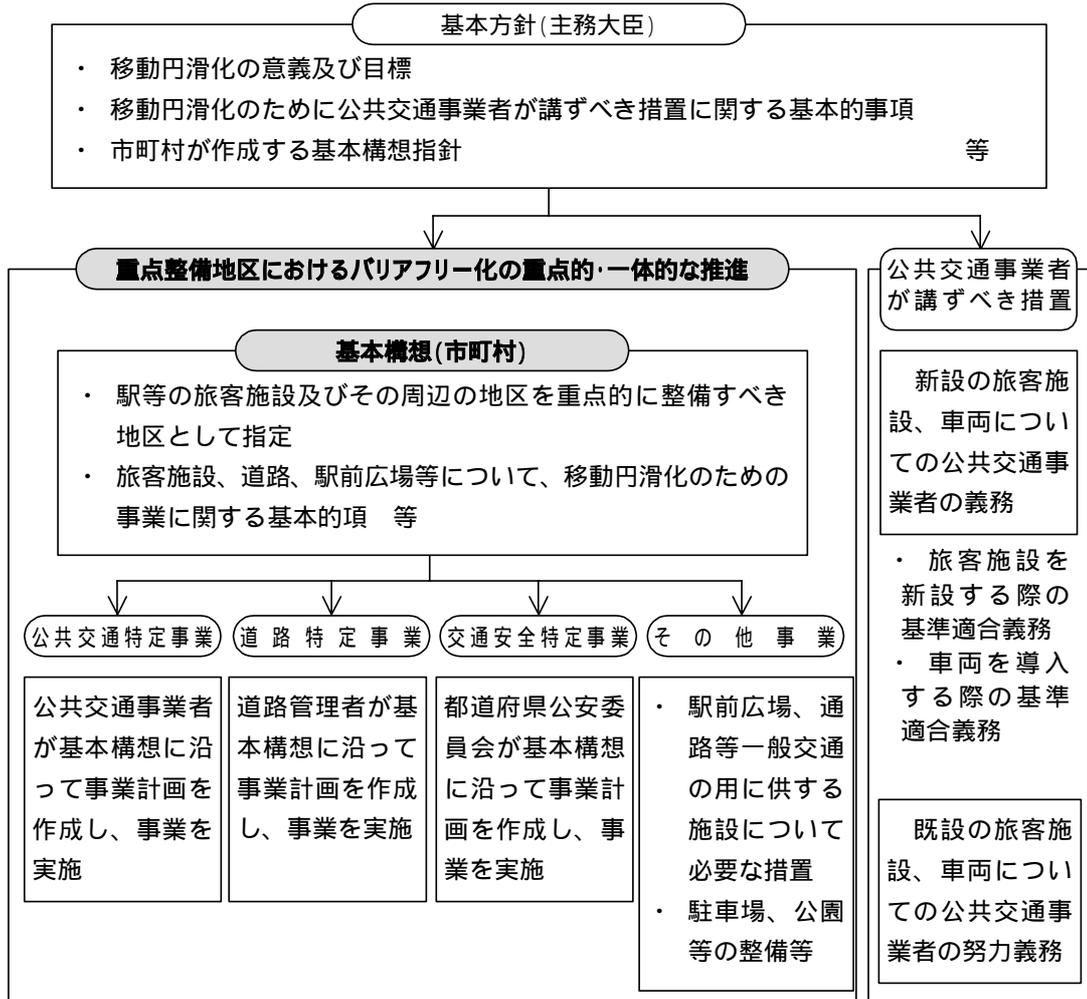
・国民の協力

交通バリアフリー基本構想について

公共交通、道路、交通安全、その他といった4つの事業を柱とし、現況の問題点を調査のうえ特定事業計画(案)を作成し、お互いに協力を図りながら、着実な事業の実施による交通バリアフリーの実現を図っていく。



交通バリアフリー法の基本的枠組み



「バリアフリー歩行空間ネットワーク形成の手引き 財団法人国土技術研究センター」より

(2) ハートビル法の概要

平成6年(1994年)制定。

商業施設などの公共性の高い建築物を高齢者や身体障害者が不自由なく利用できる設備のある施設を対象に適用。

駐車場、通路、エレベーター、売場、トイレも車いすの利用ができ、視覚障害者用の表示をつけ、階段に手すりをつける等の条件が満たされていれば、同法の認定を受け、補助金や低利融資を活用できる。

2. 岐阜県における計画

(1) 岐阜県福祉のまちづくり条例

平成10年(1998年)制定。

目 的

福祉のまちづくりを推進するため、県、市町村、事業者及び県民の責務を明らかにするとともに、県の基本方針を定め、これに基づく施策を総合的に推進することによって県民の福祉を増進する。

責 務

県の責務

福祉のまちづくりに関する総合的な施策を策定し、実施する。

市町村の責務

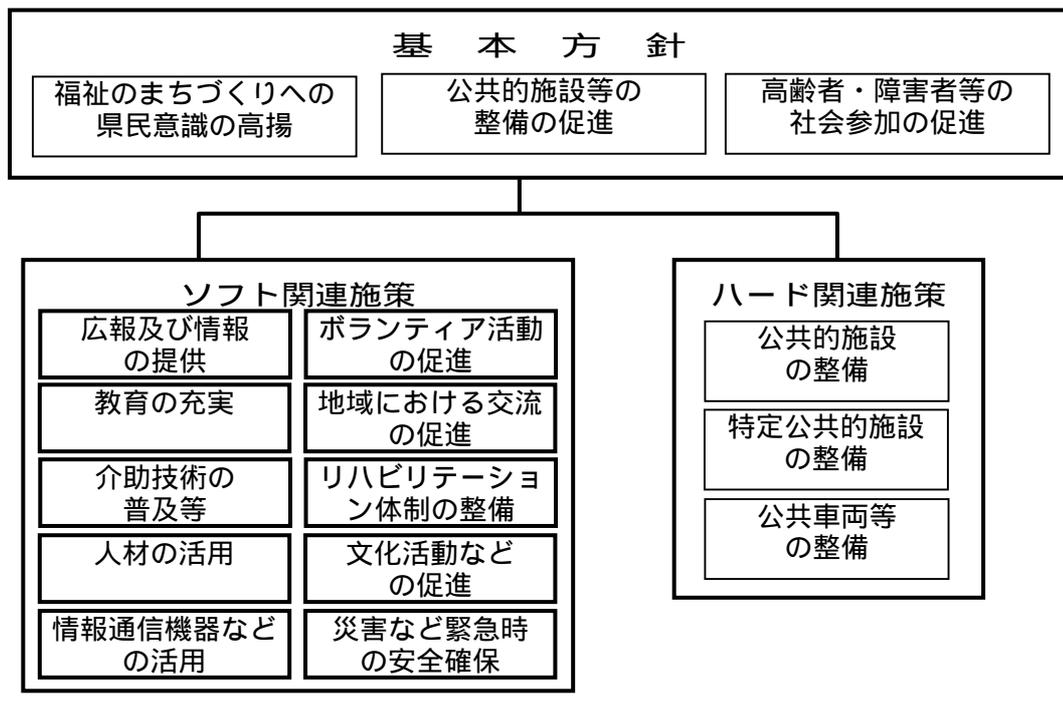
福祉のまちづくりに関する施策の実施に努め、県の施策に協力する。

事業者の責務

自らの施設を高齢者、障害者等が安全かつ快適に利用できるよう整備に努め、県・市町村が実施する福祉のまちづくり施策に協力する。

県民の責務

自ら進んで福祉に関する学習活動、ボランティア活動等に積極的に参加し、県・市町村が実施する福祉のまちづくり施策に協力する。



3. 羽島市の上位関連計画

(1) 羽島市第4次総合計画

第4次羽島市総合計画(H12.3)では、目標年次を平成21年として羽島市の将来像を設定している。ここで、交通バリアフリーに関する部分について整理する。

目標指標	[人口] 平成21年 72,000人
街づくり理念	「生き生き～自然・人・暮らし」
将来都市像	「明日へつながる街・羽島」
基本目標	本市の将来都市像の実現を目指し、以下の5つを基本目標として掲げる。 自然と共生する街 市民が支え合う街 安全、安心な街 明日に希望が持てる街 魅力ある元気な街
バリアフリーに関する項目	<p>自然と共生する街 高齢者・障害者対策の推進 福祉の面に配慮した住環境づくりを進めます。</p> <p>生活道路の整備 幹線道路との接続や住民生活の利便性、安全性に配慮した整備に努めます。</p> <p>快適な道路空間づくり 福祉面に配慮した道路整備や沿道景観の改善とともに、違法駐車防止対策を推進します。</p> <p>公共交通の充実 鉄道・バス路線の確保・充実を関係機関に積極的に働きかけるなど、利用者の利便性の向上を図ります。</p> <p>市民が支え合う街 福祉体制の充実 福祉施設等の総合的な整備、公共施設巡回バス事業の適正な運用を進めるとともに、相談・指導体制の充実に努めます。</p> <p>福祉の環境づくり 市民意識の高揚を図り、福祉ボランティアの育成を進めて地域全体での見守り体制の確立を目指します。</p> <p>安全、安心な街 交通安全施設の整備 各種交通安全施設等の整備・改良を推進するとともに、駐車場・駐輪場の整備や道路使用の適正化を図ります。</p> <p>福祉体制の充実 福祉、保健・医療、教育等が連携して障害者の自立支援体制を整備し、社会環境全体の見直しを進めます。</p>

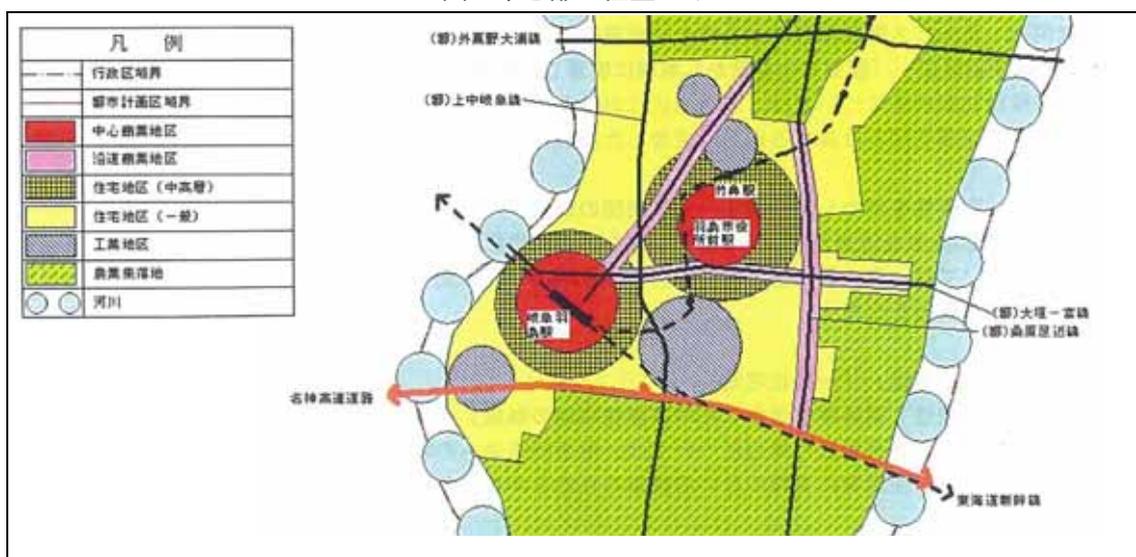
(2) 都市計画マスタープラン

羽島市都市計画マスタープラン(H16.3)では、羽島市の中心商業地として、岐阜羽島駅周辺地域を「利便性を活かした複合産業空間の創出」と位置づけ、名鉄羽島市役所前駅周辺を、「歴史文化を活かし地域に密着した商業空間の再生」と位置づけている。また、これらの地域を結ぶ(都)羽島岐阜線、(都)大垣一宮線は「利便性を活かした沿道サービス空間の形成」として位置づけがされている。

表 - JR 岐阜羽島駅を中心とした地域の位置づけ

中心商業地区	
JR 岐阜羽島駅 周辺	<p>「利便性を活かした複合産業空間の創出」</p> <p>岐阜県の玄関口としての交通条件に恵まれ業務系企業が一部立地しており、今後は、基幹産業である繊維産業を支援するデザイン機能や研究開発機能、ソフトピアジャパン(大垣市)、テクノプラザ(各務原市)と連携した情報機能などの集積・誘致を推進するとともに、ホテルや飲食店、サービス業などの商業機能充実を図り、複合的産業空間の創出を図る。</p>
名鉄羽島市役所 前駅周辺	<p>「歴史文化を活かし地域に密着した商業空間の再生」</p> <p>竹鼻町の神社仏閣・古い街並みなどとともに商店が集積立地しているが、郊外型の大規模商業施設の進出や商業者の高齢化などの影響を受けていることから、今後は、地域の貴重な歴史・文化資産の保存・整備に努めるとともに、商店街の沿道景観の形成や魅力ある店舗展開を進め、「情緒」・「潤い」・「賑わい」など、郊外型の大規模商業施設では得られない雰囲気と備えた地域密着型の商業空間の形成を図る。</p>
沿道商業地区	
(都)羽島岐阜線	<p>後背地に広がる住居系土地利用の緩衝区域ともなる沿道利用型の商業地の形成を図る。</p>
(都)大垣一宮線	<p>名鉄竹鼻線との限度額立体交差事業にあわせて、沿道利用型の商業地の形成を図る。</p>

図 - 中心部の位置づけ



(出典:羽島市都市計画マスタープラン)

(3) 中心市街地活性化基本計画

羽島市中心市街地活性化基本計画(H13.3)では、～誇りのもてる美濃竹鼻の顔づくり～歴史伝統が受け継がれる生活・文化横丁再生プランとして、名鉄羽島市役所前駅を中心とした竹鼻地区について、基本計画が策定されている。

ここで、示されている事業のうち、2010年(平成22年)までに着手を予定している事業でバリアフリーに関連する事業としては、以下の事業がある。

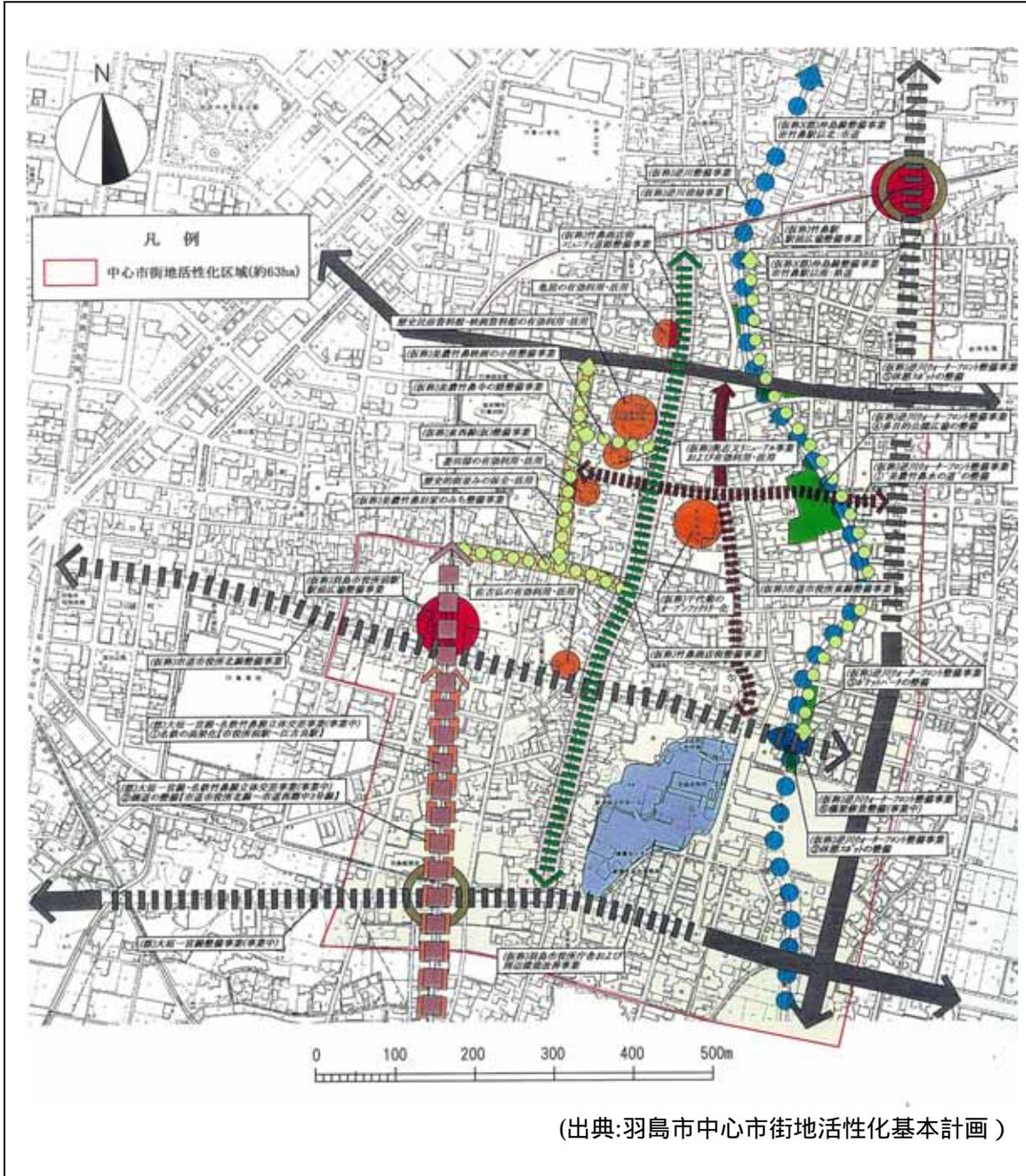
表 - 竹鼻地区のバリアフリーに関連する事業(ハード整備)

(都)大垣一宮線整備事業	
(都)大垣一宮線・名鉄竹鼻線	名鉄の高架化(市役所前駅～江吉良駅)
立体交差事業	側道の整備(市道市役所北線～市道西郷中3号線)
(仮称)竹鼻商店街コミュニティ道路整備事業	
(仮称)美濃竹鼻寺の路整備事業	
(仮称)美濃竹鼻旧家のみち整備事業	
(仮称)(都)沖島線整備事業(竹鼻駅以北:市道)	
(仮称)市道市役所北線整備事業	
(仮称)羽島市役所前駅駅前広場整備事業	
(仮称)逆川ウォーターフロント整備事業	‘美濃竹鼻水の道’の整備
	休憩スポットの整備
	ポケットパークの整備
	多目的公園広場の整備
(仮称)竹鼻商店街整備事業	
(仮称)駐車場整備事業	
(仮称)駐輪場整備事業	

表 - 竹鼻地区のバリアフリーに関連する事業(ソフト施策)

市営公共施設巡回バスのルート変更
年間イベント(祭り)の強化
定期イベント(朝市・フリーマーケット)の開催
公共・公益的期間駐車場の有効利用
商店街ニュースの発行
商店街マップの作成
インターネットの活用
街角コンサートの実施
街なか探検イベントの開催
街なか一斉大掃除
社寺等のオープン化
歴史的街並みの保全・活用
(仮称)逆川清掃事業

図 - 竹鼻地区の活性化計画



4. 現況の整理

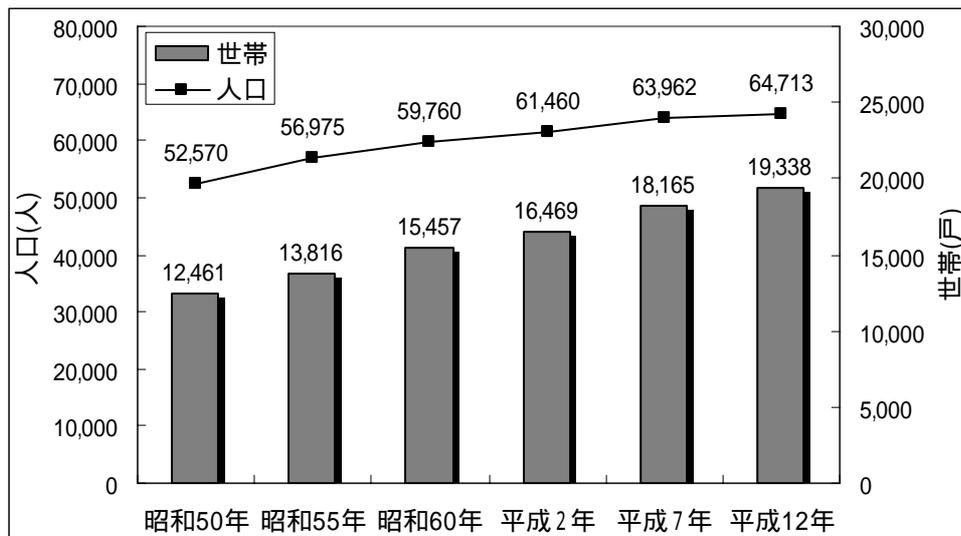
(1) 羽島市の高齢者と障害者の現状

高齢者

本市の人口は増加しているものの鈍化傾向にある。世帯数は、増加傾向を続けており、核家族化が進んでいる。

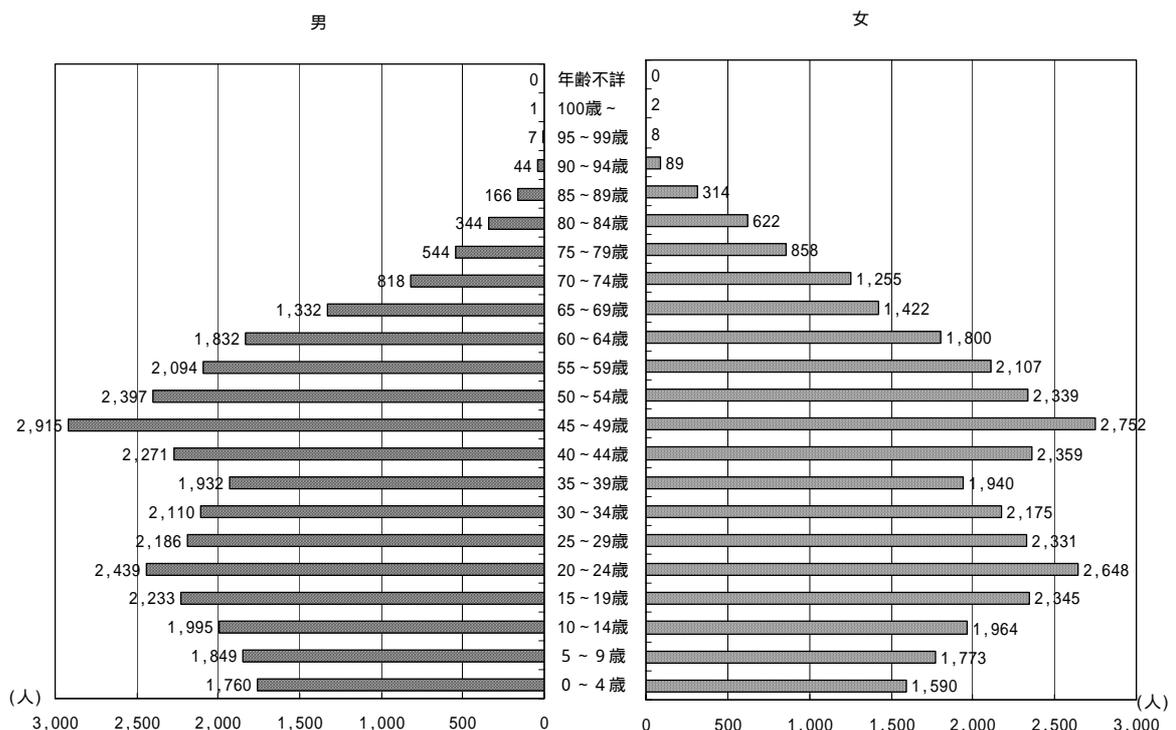
年齢別人口構成は、男女ともに45～49歳が最も多く、今後は急激な高齢化の傾向が進んでいくことが伺われる。

図 - 羽島市の人口と世帯数の推移



(出典：国勢調査)

図 - 羽島市の年齢別人口(平成12年)

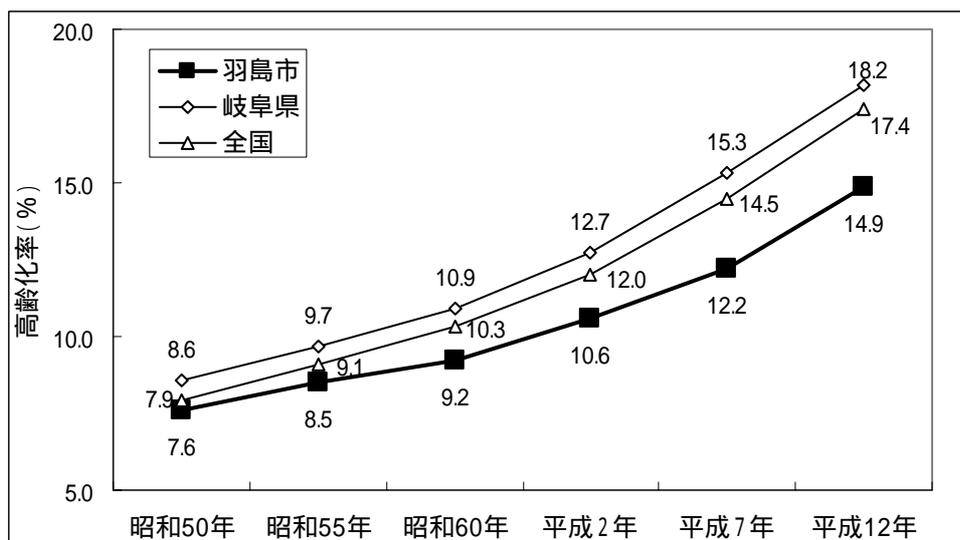


(出典：国勢調査)

本市の高齢化率の進行は、国や県に比べておおよそ1時点(5年間)遅れで進行している。今後も高齢化の進行が進んでいく傾向がある。

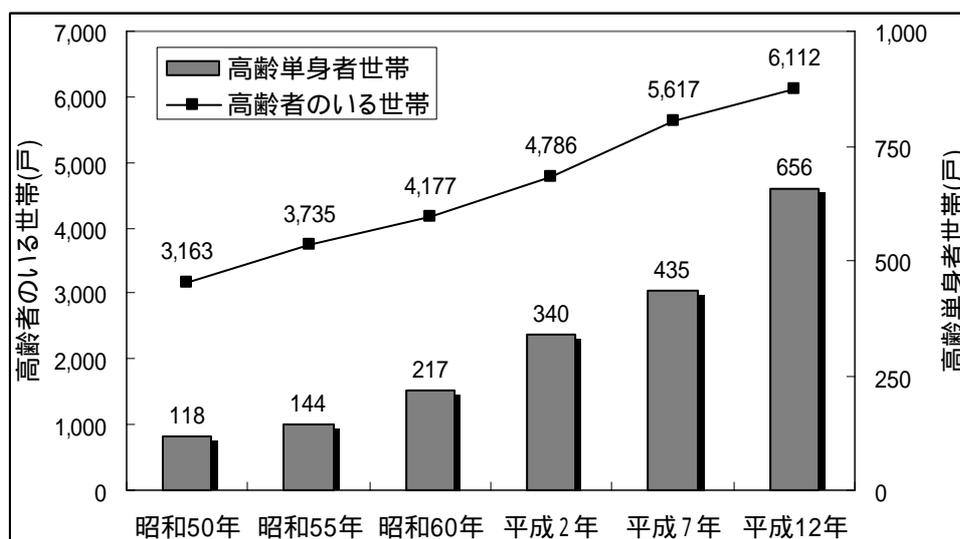
高齢者のいる世帯は増加傾向が著しく、昭和50年より倍増している。単身高齢者は、さらに急激な増加を続けている状況にある。

図 - 全国および岐阜県と羽島市の高齢化率の推移



(出典：国勢調査)

図 - 羽島市の高齢者のいる世帯および単身高齢者世帯の推移



(出典：国勢調査)

障害者

本市の身体障害者数は増加を続けており、肢体不自由者が身体障害者の約半数を占めている。また、聴覚・平衡障害や内部障害といった外見ではわからない障害を持った方々もおり、誰もが安心して暮らせる環境の創造が求められている。

本市では、ノーマライゼーションの実現に向けて、障害のある人が施設やサービスを自分で選べる福祉サービスの支援費制度が行われている。さらに、身体障害者手帳1級の人、自動車税の減免を受けていない身体障害者手帳2級の人、自動車税の減免を受けていない療育手帳Aの人、については、市がタクシー料金の助成券を交付している。

「ノーマライゼーション」障害のある人が障害のない人と同等に生活し、ともにいきいきと活動できる社会を目指すという理念

表 - 身障手帳所持者の推移

年度 \ 等級	1	2	3	4	5	6	合計
平成9年度	388	443	474	314	178	143	1,940
平成10年度	423	453	498	334	182	139	2,029
平成11年度	411	460	525	325	179	122	2,022
平成12年度	424	463	565	338	178	122	2,090
平成13年度	466	473	564	356	182	120	2,161
平成14年度	494	481	617	371	185	118	2,266

表 - 身障手帳障害別所持状況

年度 \ 障害	視覚	聴覚・平衡	音声・言語・ そしゃく機能	肢体不自由	内部	合計
平成9年度	181	209	21	1,179	350	1,940
平成10年度	180	215	25	1,225	384	2,029
平成11年度	173	198	29	1,226	396	2,022
平成12年度	171	201	34	1,256	428	2,090
平成13年度	176	199	32	1,302	452	2,161
平成14年度	175	202	31	1,359	499	2,266

羽島市役所 福祉課資料

(2) 公共交通の状況

鉄道

本市には、JR 東海道新幹線、名鉄竹鼻線が走っているが、名鉄竹鼻線については市街地のほぼ中央を南北に走っており、市街地の分断要素となっている。この名鉄竹鼻線は本市と岐阜市を結ぶ路線であり、また笠松駅から名鉄名古屋本線と連絡しており、市民の主要な交通手段となっている。

JR 岐阜羽島駅の1日当たり乗客数は経年的に3,000人程度で全体的に見て減少傾向にある。また、名鉄竹鼻線・羽島線の平成14年の1日当たり乗降客数は、名鉄竹鼻駅(2,450人)、名鉄羽島市役所前駅(2,814人)、名鉄新羽島駅(1,945人)が乗降客数の多い駅となっている。経年的な変化をみると、全体的に減少傾向を示しており、江吉良駅から大須駅の区間は平成12年度に廃線された。

図 - JR 岐阜羽島駅乗客数推移 (出典: JR)

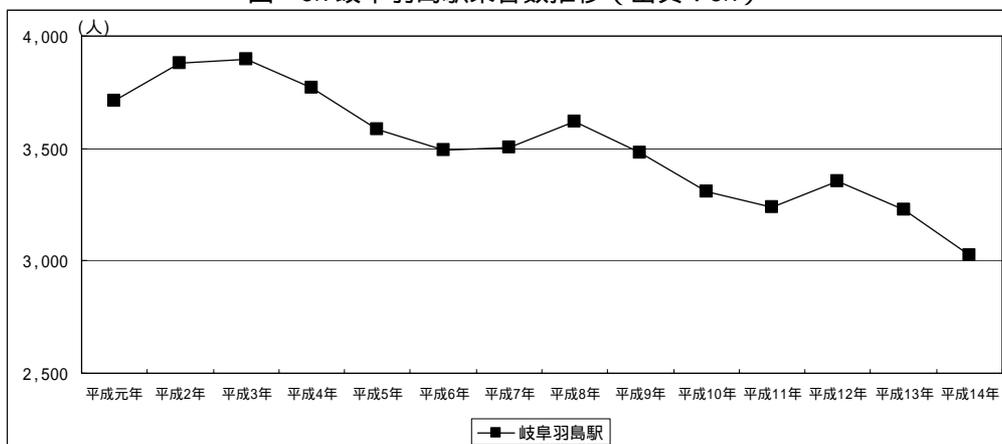
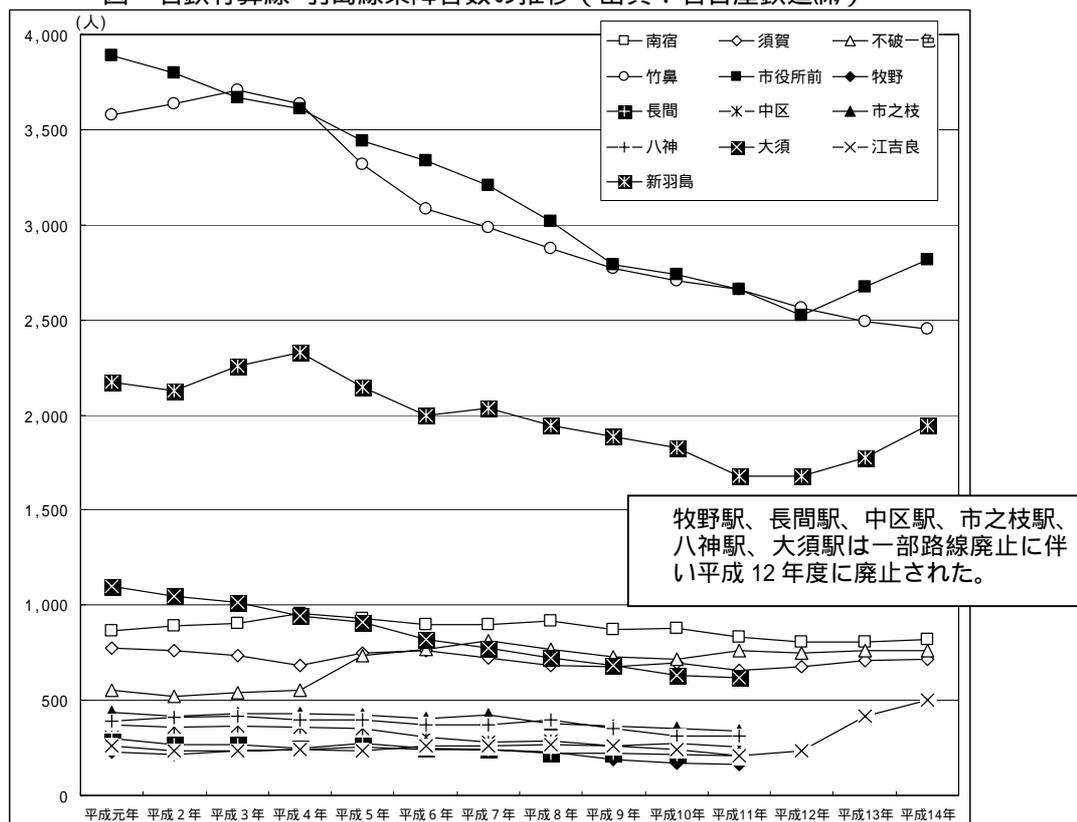


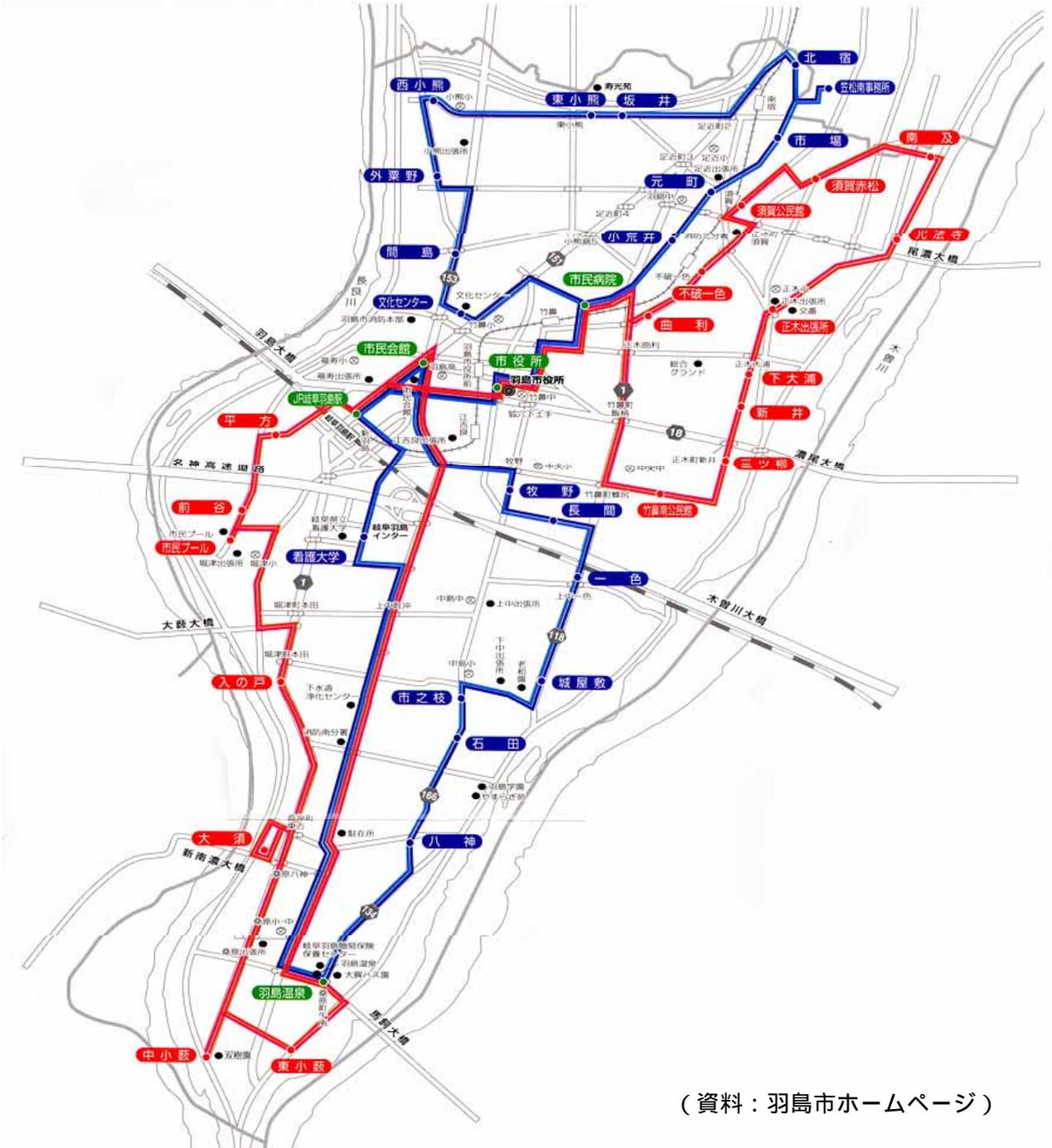
図 - 名鉄竹鼻線・羽島線乗降客数の推移 (出典: 名古屋鉄道株)



バス

バス路線は、名阪近鉄バス、広域バスが定期路線として JR 岐阜羽島駅、大須を起点に周辺都市との連絡を担っている。市内については名鉄竹鼻線の江吉良駅～大須駅の廃線に伴う代替バスと市内の公共施設を巡回するバスによって連絡している状況にある。

図 - 羽島市公共施設巡回バス路線



(資料：羽島市ホームページ)

(3) 羽島市の道路と施設の状況

道路

道路網

本市の道路網は、東西方向には主要地方道大垣一宮線が、南北方向には主要地方道岐阜南濃線、県道岐阜羽島線が配置されており、この3本が主要な道路骨格を形成している。ここで、主要地方道大垣一宮線以北については概ね格子状の道路形態となっており、以南については各集落を経由する形で道路が配置されている。

道路交通量

平成11年の道路交通センサスによると、交通量の多い路線は、主要地方道大垣一宮線で21,000台/12h以上、本市と岐阜市を結び県道岐阜羽島線の交通量で15,000台/12h以上、名神高速道路岐阜羽島インターチェンジへの連絡路となっている主要地方道岐阜羽島インター線で、約20,000台/12hの交通量となっている。

都市間を結ぶ主要な路線である主要地方道大垣一宮線・岐阜南濃線、県道羽島茶屋新田線は混雑度が1.0を超えている。

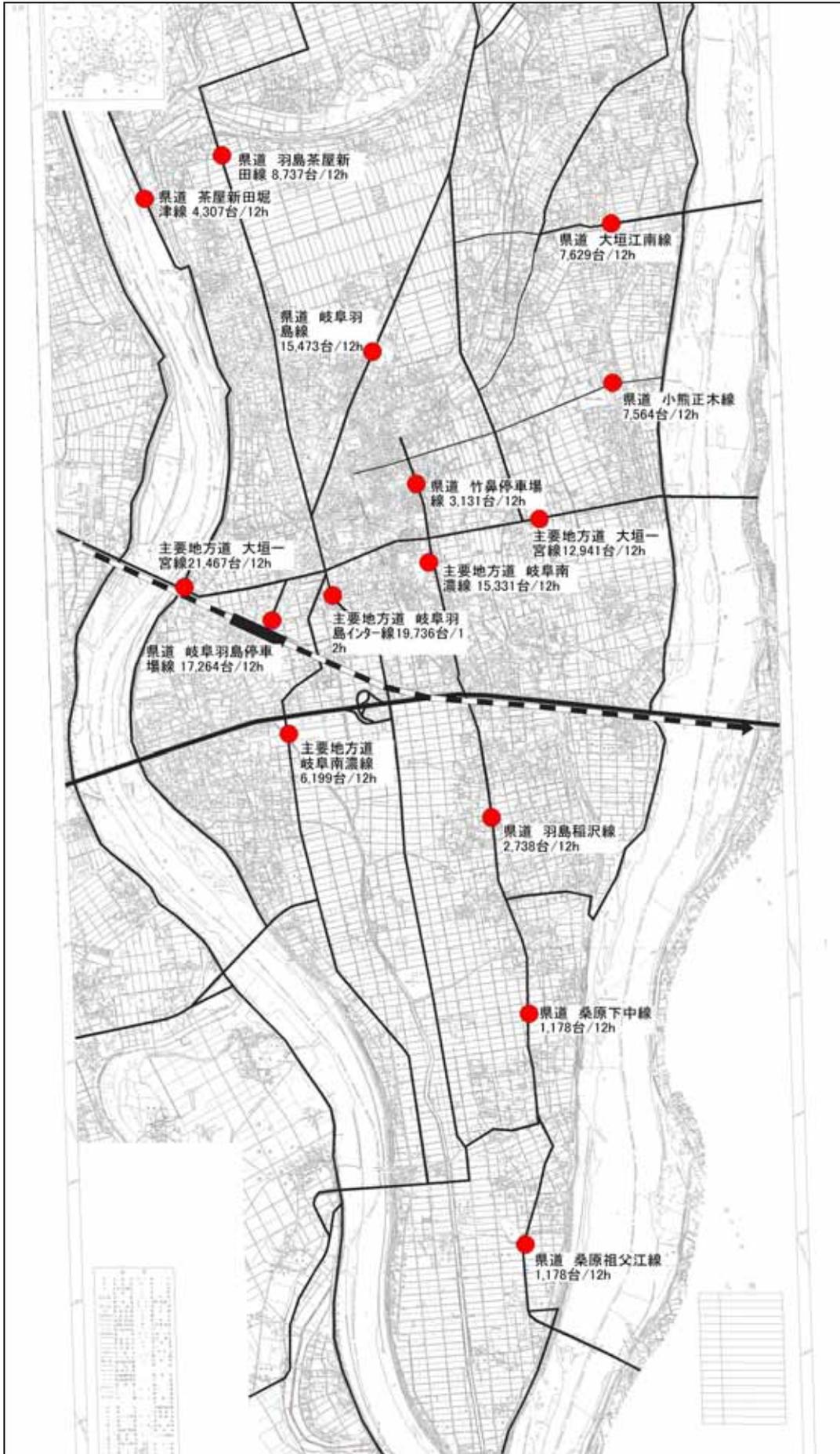
主要地方道岐阜羽島インター線は、大型車混入率が20%を超え、主要地方道の全てと県道羽島茶屋新田線・茶屋新田堀津線・大垣江南線・竹鼻停車場線は10~20%となっている。

表 - 道路交通量の推移

種別	路線名	交通量				混雑度	大型車混入率
		平成2年	平成6年	平成9年	平成11年		
主要地方道	岐阜南濃線	13,940台/12h	15,185台/12h	14,681台/12h	15,331台/12h	1.24	12.1%
主要地方道	岐阜南濃線	8,012台/12h	7,386台/12h	5,648台/12h	6,199台/12h	0.81	10.8%
主要地方道	大垣一宮線	17,959台/12h	18,193台/12h	18,368台/12h	21,467台/12h	2.47	15.3%
主要地方道	大垣一宮線	12,127台/12h	12,858台/12h	13,588台/12h	12,941台/12h	1.18	16.0%
主要地方道	岐阜羽島インター線	10,821台/12h	14,405台/12h	18,133台/12h	19,736台/12h	0.98	20.2%
県道	羽島稲沢線	2,522台/12h	3,965台/12h	3,307台/12h	2,738台/12h	0.39	4.5%
県道	桑原祖父江線	1,418台/12h	1,122台/12h	1,228台/12h	1,178台/12h	0.18	6.2%
県道	大垣江南線	6,239台/12h	7,612台/12h	7,352台/12h	7,629台/12h	0.80	12.2%
県道	岐阜羽島線	15,411台/12h	14,472台/12h	14,402台/12h	15,473台/12h	0.46	8.8%
県道	羽島茶屋新田線	5,975台/12h	7,902台/12h	7,747台/12h	8,737台/12h	1.05	17.2%
県道	小熊正木線	1,784台/12h	5,706台/12h	6,993台/12h	7,564台/12h	0.90	10.0%
県道	茶屋新田堀津線	3,086台/12h	3,516台/12h	3,775台/12h	4,307台/12h	0.68	15.4%
県道	岐阜羽島停車場線	16,180台/12h	16,132台/12h	17,428台/12h	17,264台/12h	0.45	7.4%
県道	竹鼻停車場線	1,189台/12h	2,571台/12h	2,918台/12h	3,131台/12h	0.45	10.7%
県道	桑原下中線	-	1,122台/12h	1,228台/12h	1,178台/12h	0.20	6.2%

(出典：道路交通センサス)

図 - 羽島市の道路網（自動車専用道路・主要地方道・県道）並びに交通量観測地点



福祉施設の分布状況

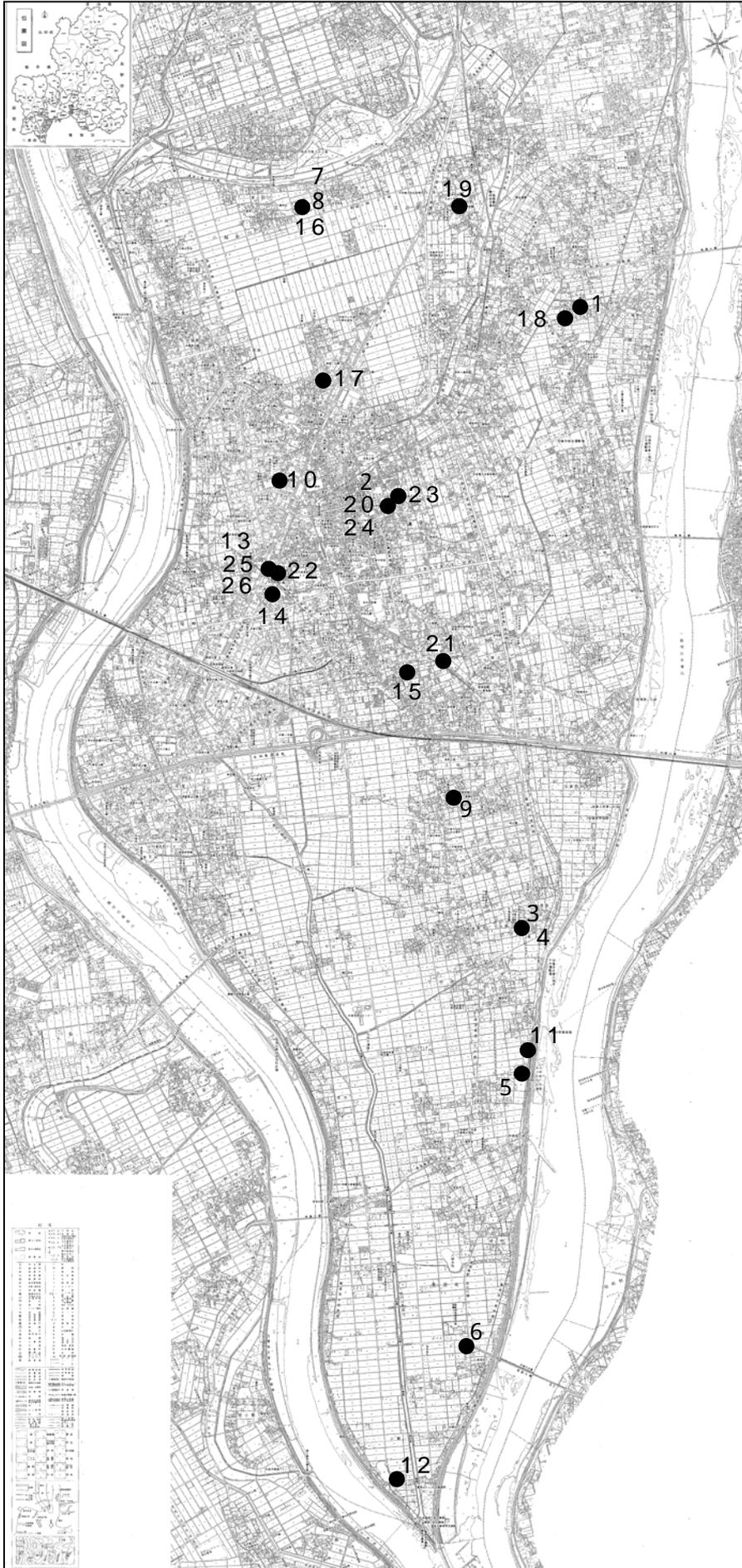
市内の福祉施設は、公共施設では、「羽島市老和園」「羽島温泉」「羽島市老人福祉センター」「羽島市社会福祉協議会」が設けられている。この他に、公設民営の施設が5箇所、民設民営の施設が16箇所ある。

施設は、本市の中心部を中心に設けられているが、市北部や南部では木曾川沿いの市全体に配置されている。

表 - 福祉施設一覧

図面番号	事業所名	業種	備考
1	正木保育園内 子育て支援センター	子育て支援センター	民設民営施設
2	喜楽舎	居宅介護等事業	民設民営施設(当初公設民間委譲)
3	羽島市 老和園	養護老人ホーム	羽島市公共施設
4	老和園デイサービスセンター	老人福祉事業(通所介護)	民設民営施設(当初公設民間委譲)
5	やすらぎ苑	特別養護老人ホーム	民設民営施設(当初公設民間委譲)
6	羽島温泉	老人福祉センター	羽島市公共施設
7	特別養護老人ホーム寿光苑	介護・福祉施設	民設民営施設(当初公設民間委譲)
8	ケアハウス寿光苑	福祉施設	民設民営施設(当初公設民間委譲)
9	わおんの家	介護・福祉施設	民設民営施設(当初公設民間委譲)
10	羽島市老人福祉センター	介護・福祉施設	羽島市公共施設
11	羽島学園	知的障害者更正施設	民設民営施設
12	双樹園	知的障害者授産施設	民設民営施設
13	発達支援センター	心身障害児通園事業	公設民営施設
14	羽島市児童センター	児童福祉施設	公設民営施設
15	アイリスケアセンター 羽島	デイサービスセンター ヘルパー派遣	民設民営施設(当初公設民間委譲)
16	寿光苑デイサービスセンター	デイサービスセンター	民設民営施設(当初公設民間委譲)
17	デイサービスたんぎく	デイサービスセンター	民設民営施設(当初公設民間委譲)
18	児童デイサービスセンターかみなりくん	児童福祉施設	民設民営施設
19	羽島市北部デイサービスセンター	デイサービスセンター	民設民営施設(当初公設民間委譲)
20	羽島市障害者デイサービスセンター であい	デイサービスセンター	公設民営施設
21	オールミックス	重度障害者訓練施設	民設民営施設
22	羽島市中心身障害者小規模授産所	心身障害者小規模授産所	公設民営施設
23	バリカム元気社	心身障害者小規模授産所	民設民営施設
24	羽島市障害者生活支援センター	支援センター	公設民営施設
25	羽島市社会福祉協議会	社会福祉施設	公設民営施設
26	羽島市福祉ふれあい会館	社会福祉施設	羽島市公共施設

図 - 主要施設の分布状況



(3) 現況のまとめ

本市では、高齢者や身体障害者に対して、これまでも様々な支援制度などを実施してきている。しかしながら、今後も高齢者や身体障害者等の増加傾向は続くと予想され、多くの高齢者や身体障害者等が市内に在住することになる。また、JR 東海道新幹線や名神自動車道岐阜羽島 I.C.などの広域利用の玄関口が市内にあり、広域利用者の受け入れについても考慮しなければならない。

このような状況において、高齢者や身体障害者等が安全で安心して円滑に移動のできる環境の創出が求められ、交通のバリアフリー化を促進するための施策を総合的に実施する必要が生じている。

表 - 羽島市の現状整理

項目	状況
高齢者	<ul style="list-style-type: none">・ 人口増加の傾向は鈍化しているが、高齢化率が増加傾向を続け、高齢者数も 20 年間で倍増している。・ 高齢者のいる世帯の増加が著しく、単身高齢者も急増している。
障害者	<ul style="list-style-type: none">・ 身体障害者数は増加を続けている。・ 肢体不自由者が障害者の約半数を占めている。・ 福祉サービスの支援費制度やタクシー利用助成などを市で実施している。
公共交通	<ul style="list-style-type: none">・ 市内には、JR 東海道新幹線と名鉄竹鼻線が運行されている。・ JR 岐阜羽島駅は、約 6,000(人/日)以上の乗降客があり、広域の玄関口として利用されているが、名鉄竹鼻線の各駅では、乗降客が約 3,000(人/日)以下となっている。
道路網	<ul style="list-style-type: none">・ 名神自動車道が市を横断しており、市の中央部に岐阜羽島 I.C.が配置されている。・ 主要地方道大垣一宮線、主要地方道岐阜南濃線、県道岐阜羽島線が主要な道路骨格を形成しており、交通量も多く、混雑度も高くなっている。
福祉施設	<ul style="list-style-type: none">・ 市の中心部を中心に福祉施設が設けられているが、市の北部や南部では木曽川沿いに施設が配置されている。



高齢者や身体障害者等の安全で安心して円滑に移動できる環境の創出のために、バリアフリー化を促進するための施策の総合的な実施が必要